

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成24年2月14日

【四半期会計期間】 第25期第3四半期（自平成23年10月1日至平成23年12月31日）

【会社名】 株式会社プラザクリエイト

【英訳名】 PLAZA CREATE CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 大島 康 広

【本店の所在の場所】 東京都千代田区五番町1番地

【電話番号】 03(3222)3000(代)

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理本部長 黒 松 達

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区五番町1番地

【電話番号】 03(3222)3000(代)

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理本部長 黒 松 達

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所  
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第24期 第3四半期連結 累計期間	第25期 第3四半期連結 累計期間	第24期
会計期間	自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日	自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日	自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
売上高 (千円)	15,201,392	14,651,955	18,773,919
経常利益 (千円)	784,420	287,759	17,798
四半期(当期)純利益又は 四半期(当期)純損失( ) (千円)	681,120	25,869	162,824
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	672,764	19,956	169,812
純資産額 (千円)	4,879,276	3,916,972	4,035,756
総資産額 (千円)	14,837,207	13,562,584	11,584,210
1株当たり四半期(当期) 純利益又は1株当たり 四半期(当期)純損失( ) (円)	158.14	6.46	38.45
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	32.9	28.9	34.8

回次	第24期 第3四半期連結 会計期間	第25期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日	自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日
1株当たり四半期純利益 (円)	317.94	290.06

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第24期第3四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

#### 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は、平成23年5月に(株)ブラザクリエイトキャリアを設立し、新たに連結子会社となりました。なお、セグメントの区分を「その他」としております。

この結果、平成23年12月31日現在では、当社グループは、当社及び子会社7社により構成されることとなりました。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間において、第3四半期連結会計期間最大の商機である年賀状プリントにつきまして当社グループの総受注枚数は、4,492万枚と既存店実績では、前年実績を確保することができましたが、店舗数が150店舗程度減少したことにより、前年同期比12.9%の減少となりました。また、首都圏を中心に優良立地における既存店舗をリニューアルしたパレットプラザ フォト&スマートフォンショップを新たに8店舗出店し29店舗となりました。

モバイル事業においては、iPhone 4Sをはじめ新機種スマートフォンを中心に販売台数が順調に推移致しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、146億51百万円（前年同期比3.6%減）となりました。利益面では、年賀状プリント収益の貢献及び諸経費の圧縮に努めましたが、上記の出店費用の負担の増加などにより、営業利益2億46百万円（前年同期比60.9%減）、経常利益2億87百万円（前年同期比63.3%減）、四半期純利益は、第2四半期連結会計期間において希望退職の実施に伴う特別損失などにより25百万円（前年同期比96.2%減）となりました。

セグメント別では、イメージング事業は、店舗数の減少の影響もあり、売上高113億58百万円（前年同期比7.5%減）、セグメント利益は3億98百万円（前年同期比50.4%減）となりました。

モバイル事業は、売上高26億40百万円（前年同期比11.1%増）、セグメント損益は45百万円の損失（前年同期：18千円の損失）となりました。

その他の事業は、売上高6億52百万円（前年同期比18.5%増）、セグメント損益は65百万円の損失（前年同期：19百万円の損失）となりました。

#### (2) 財政状態の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産の額は、前連結会計年度末に比べ19億78百万円増加し、135億62百万円となりました。主な要因は、売上債権等（受取手形及び売掛金並びに預け金）の増加によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債の額は、前連結会計年度末に比べ20億97百万円増加し、96億45百万円となりました。主な要因は、仕入債務並びに短期借入金及び社債の増加によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産の額は、前連結会計年度末に比べ1億18百万円減少し、39億16百万円となりました。主な要因は、自己株式が58百万円増加し、四半期純利益25百万円、配当金の支払額80百万円により利益剰余金が54百万円減少したことなどによるものであります。

また、当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末の34.8%から28.9%となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

(5) 従業員数

当第3四半期連結累計期間において、当社グループは構造改革に取り組んでいる中で希望退職者の募集を実施しております。これに伴う平成23年9月30日付けの希望退職者数はイメージング事業において56名であります。

(6) 生産、受注及び販売の実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績は、79億21百万円（前年同期比16.3%減）となりました。主な要因は、(1)業績の状況の記載のとおり、東日本大震災の影響や個人消費の低迷やプリント需要の減少など引き続き厳しい環境の中、イメージング事業の生産実績が、第2四半期連結累計期間からは改善したものの前年同期比16.7%減少したことなどによるものであります。また、仕入実績は、著しい変動はありません。なお、販売実績は、(1)業績の状況のセグメント別の記載のとおりであります。

(7) 主要な設備

当第3四半期連結累計期間において、主要な設備の著しい変動および主要な設備の前連結会計年度末における計画の著しい変動はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	24,000,000
計	24,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成23年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年2月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	4,612,086	4,612,086	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は、100株であります。
計	4,612,086	4,612,086	-	-

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成23年10月1日～ 平成23年12月31日	-	4,612,086	-	1,017,880	-	265,346

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 600,000	-	-
完全議決権株式（その他）（注1）	普通株式 4,009,800	40,098	-
単元未満株式（注2）	普通株式 2,286	-	1単元（100株）未満の株式
発行済株式総数	4,612,086	-	-
総株主の議決権	-	40,098	-

（注）1．「完全議決権株式(その他)」欄には、証券保管振替機構名義が200株(議決権の数2個)含まれております。  
2．「単元未満株式」の欄には、当社所有自己株式70株が含まれております。

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 （株）	他人名義 所有株式数 （株）	所有株式数 の合計 （株）	発行済株式 総数に対する 所有株式数の 割合（％）
(株)プラザクリエイト	東京都千代田区五番町1番地	600,000	-	600,000	13.01
計		600,000	-	600,000	13.01

（注）1．当第3四半期会計期間末日現在（平成23年12月31日現在）における所有自己株式数は、750,070株で、発行済株式総数に対する所有株式数の割合は16.26%であります。  
2．当第3四半期会計期間に取得した自己株式は150,000株であります。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,730,515	1,971,468
受取手形及び売掛金	620,413	1,423,545
商品及び製品	878,876	1,050,151
原材料及び貯蔵品	263,866	234,434
預け金	282,758	1,531,578
その他	558,184	665,738
貸倒引当金	-	1,104
流動資産合計	4,334,615	6,875,812
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,651,273	2,623,535
減価償却累計額	1,885,485	1,793,493
建物及び構築物(純額)	765,787	830,042
機械装置及び運搬具	5,921,030	5,654,280
減価償却累計額	4,736,064	4,792,576
機械装置及び運搬具(純額)	1,184,965	861,703
土地	1,348,624	1,368,624
その他	1,436,651	1,528,350
減価償却累計額	1,146,764	1,246,918
その他(純額)	289,887	281,432
有形固定資産合計	3,589,264	3,341,802
無形固定資産		
のれん	27,993	6,458
その他	408,250	426,316
無形固定資産合計	436,243	432,775
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,525,445	2,203,619
その他	1,007,136	713,313
貸倒引当金	316,711	16,591
投資その他の資産合計	3,215,869	2,900,341
固定資産合計	7,241,378	6,674,919
繰延資産		
社債発行費	8,215	11,852
繰延資産合計	8,215	11,852
資産合計	11,584,210	13,562,584



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	539,881	1,272,798
短期借入金	2,098,600	3,990,570
1年内償還予定の社債	60,000	100,000
未払法人税等	40,575	24,326
賞与引当金	66,380	29,833
ポイント引当金	54,400	-
その他	692,491	996,117
流動負債合計	3,552,328	6,413,644
固定負債		
社債	240,000	370,000
長期借入金	2,672,401	2,146,030
退職給付引当金	473,189	177,895
長期預り保証金	494,029	440,369
その他	116,505	97,671
固定負債合計	3,996,125	3,231,967
負債合計	7,548,453	9,645,612
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,017,880	1,017,880
資本剰余金	265,346	265,346
利益剰余金	3,167,858	3,113,488
自己株式	395,774	454,274
株主資本合計	4,055,310	3,942,439
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,553	25,467
その他の包括利益累計額合計	19,553	25,467
純資産合計	4,035,756	3,916,972
負債純資産合計	11,584,210	13,562,584

## ( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

( 単位：千円 )

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	15,201,392	14,651,955
売上原価	7,172,541	7,529,034
売上総利益	8,028,850	7,122,921
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	825,086	832,489
給料手当及び賞与	1,193,506	1,128,954
賞与引当金繰入額	36,132	25,763
雑給	1,550,494	1,317,695
賃借料	1,155,787	1,037,793
のれん償却額	34,231	23,034
その他	2,603,919	2,510,941
販売費及び一般管理費合計	7,399,158	6,876,671
営業利益	629,692	246,249
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,487	3,545
負ののれん償却額	199,483	-
協賛金収入	17,183	54,399
その他	41,723	73,898
営業外収益合計	261,876	131,844
営業外費用		
支払利息	77,141	72,976
その他	30,006	17,358
営業外費用合計	107,148	90,335
経常利益	784,420	287,759
特別利益		
固定資産売却益	26,257	20,519
貸倒引当金戻入額	1,657	-
償却債権取立益	16,283	-
受取補償金	17,000	8,993
特別利益合計	61,198	29,512
特別損失		
減損損失	49,309	73,109
固定資産除却損	39,683	-
投資有価証券評価損	-	2,130
店舗閉鎖損失	4,459	26,344
賃貸借契約解約損	17,607	-
特別退職金	-	140,609
災害義援金	-	25,500
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	28,455	-
特別損失合計	139,516	267,693
税金等調整前四半期純利益	706,102	49,578
法人税、住民税及び事業税	26,400	22,888
法人税等調整額	1,418	819
法人税等合計	24,981	23,708
少数株主損益調整前四半期純利益	681,120	25,869
四半期純利益	681,120	25,869

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	681,120	25,869
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,356	5,913
その他の包括利益合計	8,356	5,913
四半期包括利益	672,764	19,956
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	672,764	19,956
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
(1) 連結の範囲の重要な変更 第1四半期連結会計期間より、(株)プラザクリエイトキャリアは新たに設立したため、連結の範囲に含めており ます。
(2) 持分法適用の範囲の重要な変更 該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【追加情報】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間  
(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

当社グループでは、第3四半期連結会計期間において、主として年賀ポストカード等のプリント製品の需要が  
集中して発生するため、第3四半期連結会計期間の売上高は、他の四半期連結会計期間の売上高と比べ著しく高  
くなる傾向にあります。

( 四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係 )

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	
減価償却費	874,500千円	減価償却費	659,066千円
のれんの償却額	34,231千円	のれんの償却額	23,034千円

( 株主資本等関係 )

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月29日 定時株主総会	普通株式	90,564	20.00	平成22年3月31日	平成22年6月30日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	80,240	20.00	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	イメージング	モバイル	計				
売上高							
外部顧客への売上高	12,274,204	2,376,824	14,651,028	550,364	15,201,392	-	15,201,392
セグメント間の内部 売上高又は振替高	14,667	539	15,206	24,610	39,616	39,616	-
計	12,288,871	2,377,363	14,666,235	574,974	15,241,209	39,616	15,201,392
セグメント利益 又は損失( )	804,066	18	804,047	19,488	784,559	138	784,420

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プライダル事業等を含んでおりません。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「イメージング事業」セグメントにおいて、店舗について過去2期連続赤字店舗を対象に帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては49,309千円であります。

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	イメージング	モバイル	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,358,720	2,640,795	13,999,515	652,439	14,651,955	-	14,651,955
セグメント間の内部 売上高又は振替高	22,874	567	23,442	38,630	62,072	62,072	-
計	11,381,595	2,641,362	14,022,957	691,070	14,714,028	62,072	14,651,955
セグメント利益 又は損失( )	398,968	45,279	353,689	65,527	288,162	403	287,759

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プライダル事業等を含んでおりません。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

4. イメージング事業において、デジタルプリントサービスとスマートフォンなど通信端末を取り扱う複合ショップを展開しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「イメージング事業」セグメントにおいて、店舗について過去2期連続赤字店舗を対象に帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては70,135千円であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
1株当たり四半期純利益(円)	158.14	6.46
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	681,120	25,869
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	681,120	25,869
普通株式の期中平均株式数(株)	4,307,117	4,003,864

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年 2月14日

株式会社プラザクリエイト  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	久	保	伸	介
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	阪	田	大	門
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	三	井	勇	治

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社プラザクリエイトの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成23年10月1日から平成23年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社プラザクリエイト及び連結子会社の平成23年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。